

第 64 回名古屋高速道路公社運営会議議事録（要旨）

● 日 時：2025 年 7 月 4 日（金） 15:00～15:40

● 場 所：名古屋高速道路公社 黒川ビル 2 階大会議室

● 出席者

会長	愛知県知事	大村	秀章		
委員	名古屋市長	広沢	一郎	（代理）副市長	中田 英雄
//	東海財務局長	中村	修	（代理）理財部長	曲淵 敏弘
//	中部地方整備局長	森本	輝		
//	名古屋商工会議所会頭	嶋尾	正	（代理）専務理事	内田 吉彦
//	名古屋銀行協会会長	高原	一郎	（代理）専務理事	野原 強
//	名古屋高速道路公社理事長	松井	圭介		

● 議事

- (1) 名古屋高速道路の現状
- (2) 経営状況
- (3) 長期ビジョン 2035 及び中期経営計画 2025-2027 の策定
- (4) 今年度の取り組み

● 意見交換

（広沢委員代理 中田副市長）

- 長期ビジョンの策定について、長期的な方針を持ちながら中期経営計画を進めていくことは非常に良い取り組みと考える。
- それらの中でも、都心アクセス事業については、名古屋駅と高速道路のスムーズな接続、都心部の交通集中緩和、セントレアへのアクセス向上となるため、整備推進をお願いしたい。
- 交通量が増加している一方で渋滞・事故が増加しており、また、逆走・誤進入のニュースも見かけるので、これらについて、これまで以上に安全対策を進めてほしい。

（中村委員代理 曲淵理財部長）

- 長期ビジョンの実現には、中期経営計画の着実な実施が必要であり、インフラの長寿命化、財務基盤の安定、生産性向上による経営基盤の強化等に引き続き努めてほしい。
- 逆走・誤進入による事故が全国的に報道されていることも踏まえ、安全・安心な道路空間の実現に向けてさらなる対策を進めてほしい。
- 地域経済の回復において高速道路の役割がますます重要になるため、関係機関との連携による事業の着実な推進をお願いしたい。

（森本委員）

- 名岐道路については、本年の 4 月に公共事業として事業化したところである。有料道路事業として、名古屋高速道路公社においても道路整備に関する基本計画等の変更手続きを進めていただきたい。国としても、有料道路事業の事業化に向けて連携して進めていきたい。

(嶋尾委員代理 内田専務理事)

- 交通量の増加に伴う渋滞や事故の増加について、高速道路に求められるのは安全性と定時性であるため、逆走などの事故防止に向けた取り組みを強化してほしい。
- 都心アクセス事業は、リニア開通後の広域的な時間短縮に貢献することから、地域にとって大変重要な事業であり、着実に工事を進めていただきたい。
- 名岐道路の事業化については、渋滞の緩和や物流の円滑化、これにより、航空宇宙産業とものづくりの一大集積地である生産拠点と名古屋港やセントレアを結ぶ道路ネットワークが強化され、地域産業の発展に大きく寄与するため、1日も早い整備の実現を望みたい。

(高原委員代理 野原専務理事)

- 都心アクセス事業について、当地では今後大きなイベント開催が見込まれており、利用者の期待も大きいためしっかりと進めていただきたい。
- 資材価格や物流費の高騰が続く中で、交通網の整備が産業基盤にとってますます重要になってくるため、名岐道路の事業化や渋滞・安全対策の着実な実施をお願いしたい。
- 長期ビジョンについては、達成目標も含め利用者向けに積極的な広報を検討してほしい。

(松井委員)

- 都心アクセス事業に伴う街路の交通規制や地元の方からのご意見等への対応については、関係機関と連携して対応していきたい。
- 長期ビジョンについては、高速道路も都市の進化の一部であるという意識を持って、若手職員が策定したものである。これは人材育成の一環としての意味も持っている。今後は長期ビジョンで掲げた目指すべき将来像を踏まえ、3年ごとの中期経営計画に沿って着実に推進していく。

(大村会長)

- 名古屋高速道路は一旦全線開通したが、今後は維持修繕や改良、延伸事業に取り組んでいくため、引き続き皆様方のご支援ご指導を賜りたい。